

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 7 月 26 日 (2021.7.26)

【公表番号】特表 2020-523331 (P2020-523331A)

【公表日】令和 2 年 8 月 6 日 (2020.8.6)

【年通号数】公開・登録公報 2020-031

【出願番号】特願 2019-568054 (P2019-568054)

【国際特許分類】

C 07 D 401/12 (2006.01)

C 07 D 211/76 (2006.01)

C 07 D 403/14 (2006.01)

C 07 D 405/10 (2006.01)

C 07 D 413/10 (2006.01)

A 61 K 31/4545 (2006.01)

A 61 K 31/497 (2006.01)

A 61 K 31/451 (2006.01)

A 61 K 31/506 (2006.01)

A 61 K 31/453 (2006.01)

A 61 K 31/5355 (2006.01)

A 61 K 31/454 (2006.01)

A 61 K 31/4525 (2006.01)

A 61 P 9/00 (2006.01)

A 61 P 9/10 (2006.01)

【F I】

C 07 D 401/12 C S P

C 07 D 211/76

C 07 D 403/14

C 07 D 405/10

C 07 D 413/10

A 61 K 31/4545

A 61 K 31/497

A 61 K 31/451

A 61 K 31/506

A 61 K 31/453

A 61 K 31/5355

A 61 K 31/454

A 61 K 31/4525

A 61 P 9/00

A 61 P 9/10

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 6 月 7 日 (2021.6.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

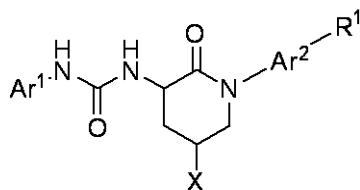
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 I :

【化 1】



I

[式中、

Ar¹は、フェニル、ピリジニル、ピリダジニル、ピリミジニル、ピラジニルまたはベンゾジオキシルであって、かつシアノ、ハロ、アルキル、フルオロアルキル、アルコキシ、フルオロアルコキシ、アルキルチオおよびアルキルスルホニルから選択された1~3つの置換基で置換されており；

Ar²は、フェニル、ピリジニル、ピリダジニル、ピリミジニルまたはピラジニルであって、かつシアノ、ハロ、アルキル、フルオロアルキル、アルコキシおよびフルオロアルコキシから選択された0~3つの置換基で置換されており；

Ar³は、窒素、酸素および硫黄から独立して選択された1~5個のヘテロ原子を有する5または6員単環式ヘテロ芳香環系であり；

R¹は、シクロプロピル、シクロブチル、シクロペンチル、シクロヘキシル、テトラヒドロフラニルまたはテトラヒドロピラニルであって、かつシアノ、アルキル、ハロアルキル、ヒドロキシアルキル、アルコキシアルキル、((R²)(R³)N)アルキル、ヒドロキシ、アルコキシ、(R²)(R³)N、(R²)(R³)NCOおよびAr³から選択された0~2つの置換基で置換されており；

R²は、水素、アルキル、アルキルカルボニルまたはアルキルスルホニルであり；

R³は、水素またはアルキルであるか；または、

NR²R³は、一緒になって形成し、アゼチジニル、ピロリジニル、ピペリジニル、ピペラジニルおよびモルホリニルから選択され、かつハロ、アルキル、フルオロアルキル、アルコキシおよびフルオロアルコキシから選択された0~3つの置換基で置換されており；および

Xは、水素、フルオロ、ヒドロキシまたはアルコキシである]

の化合物、またはその医薬的に許容される塩。

【請求項 2】

Ar¹が、フェニル、ピラジニルまたはピリジニルであって、かつシアノ、ハロ、アルキル、フルオロアルキル、ハロアルキル、アルコキシ、フルオロアルコキシ、アルキルチオおよびアルキルスルホニルから選択された1~3つの置換基で置換されており；

Ar²が、シアノ、ハロ、アルキル、フルオロアルキル、アルコキシおよびハロアルコキシから選択された0~3個の置換基で置換されたフェニルで置換されており；

R¹が、シクロプロピル、シクロブチル、シクロペンチル、シクロヘキシル、テトラヒドロフラニルまたはテトラヒドロピラニルであって、かつシアノ、アルキル、フルオロアルキル、ヒドロキシアルキル、アルコキシアルキル、((R²)(R³)N)アルキル、ヒドロキシ、アルコキシ、(R²)(R³)N、(R²)(R³)NCOおよびAr³から選択された0~2つの置換基で置換されており；

R²が、水素、アルキル、アルキルカルボニルまたはアルキルスルホニルであり；

R³が、水素またはアルキルであるか；または

NR²R³が、一緒になって形成し、アゼチジニル、ピロリジニル、ピペリジニル、ピペラジニルおよびモルホリニルから選択され、かつフルオロ、アルキル、フルオロアルキル、アルコキシおよびハロアルコキシから選択された0~3つの置換基で置換されており；および

び

Xが、水素、フルオロ、ヒドロキシまたはアルコキシである、
請求項1記載の化合物、またはその医薬的に許容される塩。

【請求項3】

Ar¹が、フェニル、ピラジニルまたはピリジニルであって、かつシアノ、ハロ、アルキル、フルオロアルキル、アルコキシ、フルオロアルコキシ、アルキルチオおよびアルキルスルホニルから選択された1~3つの置換基で置換されている、請求項1記載の化合物、またはその医薬的に許容される塩。

【請求項4】

Ar²が、シアノ、ハロ、アルキル、ハロアルキル、アルコキシおよびフルオロアルコキシから選択された0~3個の置換基で置換されたフェニルである、請求項1記載の化合物、またはその医薬的に許容される塩。

【請求項5】

R¹が、シクロプロピル、シクロブチル、シクロペンチル、シクロヘキシル、テトラヒドロフランまたはテトラヒドロピラニルであって、かつシアノ、((R²)(R³)N)アルキルおよびヒドロキシから選択された0~2つの置換基で置換されている、請求項1記載の化合物、またはその医薬的に許容される塩。

【請求項6】

請求項1~5のいずれか一項に記載の化合物またはその医薬的に許容される塩、ならびに医薬的に許容される担体、希釈剤または賦形剤を含む、組成物。

【請求項7】

請求項1~5のいずれか一項に記載の化合物またはその医薬的に許容される塩を含む、心臓疾患を治療するための医薬組成物。

【請求項8】

心臓疾患が、狭心症、不安定狭心症、心筋梗塞、心不全、急性冠動脈疾患、急性心不全、慢性心不全および心臓の医原性損傷からなる群から選択される、請求項7記載の医薬組成物。

【請求項9】

治療が、心筋梗塞後である、請求項7記載の医薬組成物。